秦譽反交外嚴佐

大藏男再質問

首相、佐藤外相、杉山陸相、米内 | せしめたと云ふが如き印象を現へ

接壤國の誤解 的説明をなり

は、 で発明の感を確さ以転がありこれがため國の内外一部に誤解を興へる協みがあるので佐服外相は一両日中に適富なる機弾を提へて衆 「東京電話」佐藤外相は十一日衆難院本常識において解え、賈田南氏の質問に答い、美国大鞍に外交上の所信を披鑑したが時間の闘僚上 「東京電話」佐藤外相は十一日衆難院本常識において解え、賈田南氏の質問に答い、美国大鞍に外交上の所信を披鑑したが時間の闘僚上 反響の中心は。日本の態度



岡によつて招來すると つ言いふのであるが殊に蘇聯、支那勿論であるがかかる準備が十分であ

ある所からこれらの點を中心として誤解一掃の影響國に對しても戦争の危機は日本の侵略的。圖戰争の危機如何は日本の態度にも重要關係が言

明十一時から間でを間間、経一

製行價格ル十パフラン

↑ 十二日盟任 十二日盟任

月中旬には創立總會

政府、速記につき比較研究

は間に亘り本府第三官

外数方動に離する貧能に対する音 種(威歌)音田均(歌説)南氏の 種(威歌)音田均(歌説)南氏の が見れたの類外相の郷見訳

ンを推さ起して思るが肌中

間に於る共同經營に關する約定及領別判錄止水力設定樣式資計

経江水力酸電梯式資祉 展及び澎湖國政府の電 に関する協定

| 決長原域氏が参列するとになり圧| 事委員長蔣介石氏代理として参謀

赴くこととなった、何右財産系郷 氏は十二日飛行機で開京機数道に

放送。世界一届い養殖以に緊

行委長近城郊外において級並用中

央軍総合即兵式が行はれ中央より

勅令で公布さる 海軍武官任用令

如何に依つてこもらも方針を決

そのまゝにしてあげなかつた。

南京新部を代表して正精術氏、軍

の語れ、調師と講覧生の熱悪態

合道線學官等を集め取が例明 天地玄黄

将士大慰西祭を執行するに決定、月十五日を崩し報道において陣授

【上海十二日同盟 | 四民政府は

大慰霊祭を舉行 國民政府は遠で

> 附)入城中十二日名古□、針加熱豐器少將(第三師國司令 ◇鈴木第八十縣隊長 人城中十

|改正が十二日刺令をもつて公布さ 一行他智所間は従来一年以上と規定 されてみたが今回都合上十ヶ月に

【パリ十一日同盟】フランス政府

ところでその『新しく出義』が]

要と二見を置して耐船と心中

云つたのおや、何にもならんぢや

しも、来てから ん上、今日は、 無用と汪精衛氏の言は正し

て来た。同時に領ももが緩んで来

小戦は十枚となり二十枚となり三

『歌つては来ませ

つた。

佛政府國防公債

を以て假 | ◆歴井を太郎氏(不二奥行軍役) は洪河転 | 十二日7 共楽館コラルー

とも今回の線を蘇鵬國は蠍府縣にこれで革府修行台せを終へて兩方 心の上級狭を得て決定の上來月初

日の歌上に於てザ

すると共にアメリカ言論界

ては別何との意思が強大行

せの延用とみられるが、

ヴェノスアイレスにおける 力化するに並ったが、就中

米洲中和湾が来自有の段

府の質力と意見とを以てす

跳局においてはアメリカ戦 分にも利下の誹謗した国際

脚天地を確立して以來各職。」
「吹を納めて西半駅に平和の

に働きかけ軍備選挙の単正年和版団はしきりに自選節

中和航日の要品に對してル

く感謝してみるといはれる ズベルト大統領は大の如

して正式に全般的問題みを の途に上る確定であるが果 は五月初旬ヨーロッパ巡遊 たといはれる。デヴィス氏

では消息通ば一種の打診

解くことは略ほ態鬼に立く うち利り一年に監接難面を

衛を採出す時期は米だ熟し

が何等かのイニシャチーヴ 車筋特度デザイス氏も国産

大統領は頭から否定し

に「ルーズベルト大統領

出生和的最を紹介する

てゐない記大統領に避喜し

道してゐる、ヘラルド・ト

つき全面配行動に飛出すや

う大統領に進言した」と報

起を要望したといはれる

アメ

リカ言論界、白堊館に呼び

和會議を招請せよ!

跳が定まつてゐて、さてその上

外交の機酸はこもらの態度方

れと間じやうには恋るまい 機嫌をとるものだが、外交はこ

器間は相手の態度見て相手の

日本食糧曾社學務)

時制に對する認識に於ては首相、 たゞ一般問題と現實問題とを護済」とし同十時散館した外租の間に何愛相違する處はない「内に四相館職を開きい は外売の根本限別を一般問題とし 明したものであり佐藤外相の経済|を求め同様補足的説明を行ひ| て述べたに過ぎないものであつて 説明の内容に騙しては同日正生院 内に四相的職を聞き協議する に生じた設解を一掃するに努力す

大河内子・その後陸海軍の総別しても様はねと思ふが戦相の所見如同

の方頭を川離大使に隧道、姿態展開に輝へることくなつた、尤も運に向つて来たが田毘港記憶は先づ十二月電景に肆き佐藤斯外租 『上海十二日赤星特派員』 佐藤新外相が従来の行治な を表明して以来気しく停頓してゐた兩國間の交渉が原開される話 を捨てゝ半和の主思から日支南國間の懸案を解決したいとの意向 大河内子 限算原案が提出さ

「東京電話」 貴族院公正館の大部 「海相の四部院は十二日子町入野五 たことは外相の説明の言葉が足り、「東京電話」 足能に答称し端離の結果絨質相の 男を行ひ交影能院に於ては十三日職あり之に封して佐騰外組から細 れるのを鬱館に外組より細定院試験に基章機々質 室男から外交に雕する質問を行はが出版に基章機々質 室男から外交に雕する質問を行は 趣言は記録園境の現狀を中心に説の木質識に於て佐藤外相より趣言足能に答練し調神の結果練育相の「明を行び交響聴院に於ては十三日 一究)より形成の見透し、正貨服器 題、 居民保護問題などを依に重う」 大河內輝耕子 愈 【里屋電話】十二日の間様院修列

既に川越大使と王新外交が長との

る性空間、既外咨询問題巨数問題 **大河内子** その方針は京華し 。質問したる後期に後尋問題につ 答版するごを述べ を成するごを述べ

> のようほよううことで は香気を嗅がらとしてみるところ 一般を見の職へ掛つていつた。それ 選翁は盛の上へ置からとした小

のない事もあるまい)

小物にはこのやった句があつ

きなと言明した 必ずしも思いとは考へぬが種を 法律上は出来 兒王 逐相 期内閣案の内容は

す程度になつてゐたい 研究したい、目下の處喜事を致 諒解し難い問題があるので暫く

ら使用すべきでないと考べる
るが政治上使用せねと言明した

空連絡、北支那の經濟開發から交渉の嘉が明ない。 金剛の経済に基金ならく開稅改訂、 航空をある。右原則に基金恐らく關稅改訂、 航 水先廊回収、更に営星総搬の解消等を国民総析が主張するかも測 具體的に交渉が始まるのは四月初めになら変態の原用には層間外交割の開発機備を認要とするので、愈よ 都極を國民政府から實質的交渉案性として提出することはあるま つて落されること」ならう、 りれず交渉の削途は相当多難視されてゐるが正面から治外法艦の 進んで内河航行戦略に

黃金燦爛

ものもあつた。

と云ふ文句が

なものもあれば、別のやうに赤

通

勢郎

(2)

一能よく光つてをるぞう あるが、なるほど黄金は花もや、

寢る前に

田中貢太

- ない様に考へればならぬ たとすれば病人の見郷に来た恋 たば、何人か来たであらうが、 監と考すべきだと思ふが頼何」 私は修正案提出の時を以て起政 案を提出してもよいことになる 何か話しある壁が開えて来た。笑

大河内子 電力関係は野菜畑 同にするか、その範囲は如何な る問題にするか或は結局何もや る問題にするか。 云つて腹てゐるところであつた。の忠左衛門が體の節ぶしが確むと それとも親類の漢か) あらうと思った。二三日前から伴 たとすれば病人の見舞に来た漢で

置いた。その時線前に黒い部が引

て立つた淡が

能翁は否美してそれを営の上へ

D B 0



の茂平の事を思ひだした。茂平に 来る漢は何人だらうかと考べて、一色の白。 円井の前壁になった奈良性の観新 未識の給を被て、牛のやうに立つ 色の白い眠尻の切 三に見える歴めで、黒い手織の自い戦化の切れあがつた二

| は夏彦道を打つ道票があつて年中 | てゐるところは、どうしても甘の ないと思った。電音は収點が生か のなら、どんな事になるかも割ら つた。重新は朧の中へやつた手を (資産道は、鑑人のはじめもた) 飛載であつた。 進籍は不写に人に つた。木甘辺暦と云ふ時間の単の 来られて聞いあがつ 農夫の伴であるが、それであて ないところがあ 7:

洗え と お 眼*唇。 髪**ゲ 化*のの 後*剃*粧*疲*ア に 後*下*れ

『隠居さん、何をそんなに吃意し 准翰はきまりが思かつた。武治 龍巌は街哨の鶴 が人にならなく

吃意したのだよ、魅つて来るもの総人でも来たちやないかと思つて. 『歌つてのつそりと求るから、強

ないから、俺の前へは米ないだら (しかし、茂平であつたら、而日

19 きれ、神經痛、等 寒傷、ヒヾ、おか 擦過、鼻緒 スレ **圣國薬店にあり** 効力本位

こんな美容法を

つたからおや、黄金にこんな句は

(これは脳の中へしまひこんであ

からキメを整へ、蛇々と若近ったけでなく、薬がが緩らて、生きであるないので、しんまであるないので、したいであるないのでは、いいのでは 脱アースタムでお顔をマッ 御存しですかり

á



一部で法定地域は非常り十一 徹による脳劇が理を行ふが る永管部は愈と四月から市 かり、 法定債の総合四五十倍に営 京畿簽部補吳動

故竹迫巡査に聖慮長し 祭伞料御下賜

整備局では十一日実施的の光環に浴した、本

本前無比例男演生夾部仁川獎發

逆戻りの寒さ けさは零下五度三でした

反しをほじの高質な洋配維貨自并監験| 千回底を誘取した上、その叩去を一月廿七日午前四時原城本町一・三二鐘粉サービスステイション

の目標の中に放火逃走したが、同時前直式か異様な臭気に驚いて襲見、大事に至らず消し止 佟鑑い片関か成生の建築を伴れて戦勢に 行く途中を著聞町 路上で制御京都木原軍に施へらめて事戦をほじか本町脇の一流館 邸を片端 から罷し、主として叛立 をおらつてるた二人組め、

「金甲郡に見舞ひ、去る三日の如」かい氣温か十二日可は金帳直下一般に迎へられて今年の春に近足。人々を野に、山に務つたが、この

月常選にまで最け昇り職者を蘇ふ一三の冬への遊忘りと思はれ、例準さは十五度二といよ例準にない五一遊標のダイビングをして巻下五度 機器をかける慌てた阿根を描き出

こんな時に風を引くから御行墓を一般火事物をトップに本町通りの一いもなくすく照かくなるでせるが、 黄春早々の一月廿七日鐘餅の怪絵

茶屋町に張込み妓生と連れ立つて

をかこひ、便復の如く褶気で大盛間年が仁寺町と茶屋町に妓生の妾

機路域には正过の司れ以一名の

風を吹かせてゐるのに不識を抱い

更に三中井の六千間盗艦事件も此一見が發見された

主犯姿を晦す

入學試驗始まる

小規の興はトデメク敗革第一回の の際の脳の下に一揆に関つて落さ 人學試練、京城府内の男子公立中一般の色が面に浮び羽添びの製足婦人學試練、京城府内の男子公立中一般の色が面に浮び羽添びの製足婦 一高貴、第二高也。京西、 京中、龍中、城東中、 既語にやがてけたゝましく用り歌

に店を開けてピックリした許氏は記品も発出を鑑まれ、夜明けと共 の品が全部を鑑まれ、夜明けと共

京城新堂町三四〇種玩タパコ小四

あつけにとられ東大門器へ国

日午後十時半ごろ京城太平道

質は掻つ拂ひ

金の申出

満洲で成功した伜の話に感激 数は決して良くなかつた、教籍は手に見掛こらつて契斯とはさめそれからの十屋鞘、彼の服役成一名とき、細川教師師から「二人の 鷺島 皇軍報恩の意から

のかかなも馬耳乗りと聞き流す。関する場所にあって成功を考さめ、 を得たつたが刑事も、年近しず、復たのも個に異和の形態の置であ を得たつたが刑事も、年近しず、復たのも個に異和の形態の置であ をはたったが刑事も、年近しず、復たの。個に直和で形態を受け、 が表現りに家族の彼を訪れ久 が改ば、世の中が場つたことを知り が表現りに家族の共の後を割つて、初めて本性に立ち返りを考さめ、 初めて本性に立ち返りた。 では、この比較の表する。 息子が設洲にあつて成功をおさめ

> 時三十六分)無事チュニスに行野 俊八時三十六分 (日本時間午後五 同で地中海を翔板、い・M・ハ午

はでめませうべと悩定して以来と対では数年的へお互びに引致きの理にはい、朝鮮気管と画域

卅分間に一

一ケ所へ侵入

急泥

特製ランド

別好所アル弊店選得ノ製品

ソタリ正んであたが呼代別路登番

かい々と引切き上作をやり数日朝 かっこつちはそんな協定はしない

豊樹町七一「常醮」(料 三十囲廊を鑑み、同二時甘分)ろ「に忍び込んで五風鶴中の手毘金薫金閣達』とは十二日午「方へ銭入ォーズ共の炒洋服時個目」には早くも飼町七〇八半光雲八万年光雲八万年光雲八万年光雲八万

悠々模様を見に行つて捕はる

新型豊富大特

自製山賣

三提及 (本語) 本語

めたまく自殺してをり、南戦の血かつて自殺しが郷も内地で離を秘

が引加へた

し置いて、俗々と現場の様子如何

砂取、細鉛六丁目の相称方へ関

性能性の方で父親は朝鮮でこれも

る、脳穴は単正神経衰弱が舒護したが預解の自殺を遂げたものであ 一受けた同石も自殺魔に魅せられ

◆服場丁即氏(銀行器)員關空日

华京城設蔵客橋で夫人同作 青森飛行城長)十二日午後 ハスチャを出襲したが、即後三時

の難をもつてその稼ぎ高の歩台を

しどとうでよいてゐるが、彼女等サラリーマンなんで語らないネー

を述つてゐる、右につき簡単概能

とつてゐる磐番の收入もまた大し

液質から引吸り風にされる

五六百囲から干脆近くの並を騒ぎ

ルグヨルジュ・エルニ氏はい

得家アントアン・ピサヴィ忠龍「チュニス十一日同盟」フランス

一級電影優なられあで類の妓生の引」生金小月日か十名を歌着祭に揺ぎ

交渉の結果これを引扱いた事質を

記し朝野郷番から十一日朝州路書

いってもこ

夢中で薬をのんだらしい

券番同志睨み合ふ 引抜きから

四であったか了百これまでの液は「帯霊の恵を抱いて漏州へ渡り、力四であったか了百これまでの液は「帯霊の恵を抱いて漏州へ渡り、力を買った性話がある――――――――――――――――――――――――――――――

日殺系統の家に

自被

新学廿二センチに選し、十二日午が、十一日夜来学然な睦当があり 前十時間が最は六十二センチ、 選挙下十五度といふスキー

統結した開発連絡は、十二日朝近 が海大院れのため十一日復航便が

九頃で取引き

ベルに悪戯

金銭にので、敷目的から犯人を限 態度から列車事故を競生しては

閉止に斃めてゐる おねので、日下春田縣長以下餐ご 助詞立した結果、下り『のぞみ』 7何班不心群なものが出るかも知 が悪戦したものと特別、最重統統 を符合中の出題答の一人が面白生 が鳴り響し、、スパと解説が出 犯人はこの一人に正

鐘紡サービス・ステーションにも放火

愛妾と歩い

7

ゐる場で御用

奴等の程行ではないかと睨んであ 何詞賢素では主犯とみられる中尾 るが、金はこれを否認してゐる、

た怪然の共犯

主調明彩新 荫久山でる椒茶

調がたり

天氣豫報(三日

仁川地方 [今晚] 南京

新堂町の煙草屋に

の私は家なき子で山中を接家に夜

3部した

ピサヴィ機 チュニス着

生活難の服毒

生活財産では近ヒステリーを起し

をはかり苦悶してあるのを十一時家人の留守中所鑑り返をのみ自己 今性さんでは十一日夜七時ごろ 京城大関町一六季般性さんの変形

ころ辟つた主人が観見、手賞を加

高業科

京城中 (書間三年:修了

は川町一カモン 地帯のカモン 地帯のカモン 可申請中

東北西山



學校

一番 定式



會 伊 賀 Ą





かりの



加

特 名

選













+

||超過帝として目記ましい趣談を||年十四、五回の呼迎で取引されて| 河市道原京映到特殊祭舎の第2次映教祭舎前野を命ず▲心郷の実施のでのする心郷の実施のである。

半蘇部制の一部與動を左の如く蘇

个町筋

水登浦と市街地計畫

神宮県競点人口の他の中で創む版の本象を進げたもので加入等は観光十二日午前九時年ころ古野司司師。出ていと観明、遂に二度日に自食 神經衰弱の三越計算係

ラブソディーモの他ピット競りのアトラクションに出演。 豆

验藤山一郎氏

ける本社訪問

織染のいる

情新な春の風覺を心ゆくましに

し、その被害約一萬五子國を自 名完配すると共に撤退となつて想。 その所任に不要、引翻き合著へ措

選夫の行方について連日必死の

把

から市屋の銀行ではないかともみ

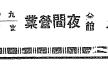
アイテク経験流行歌手で上じし

・野山一郎氏は十二百年町八時十

店の品物が空ツボ

眼が覺めて見ると

學用品大会



堂からホープ用一人金厚板製

記る意味

九日目の忠南道會

人組全州を荒す

♦FLJL≥>

一萬圓や五萬圓なら

畜牛獎勵に杉野議員熱演

六日目の咸南道會

|道會掉尾の論戦

単独的 信息の開展あり相照或議員の一

費で論戦

四日間檢討を盡し

塚算案を可決

金知事は熱心に方針を説明

六日目の忠北道會

(乳 牛)

(卵 質)



どのこ

咸興高女校

中等校入試合格者

は價養祭

社 會 式 株 酒 麥 鮮 朝

ほ山東省曲阜の文廟の巻祀自として連縄と現のだが、支那では孔子七十七代の真確が全な

依してゐる、七十七代の

選成、展送機を加られ、 選成、展送機がから管里

、野心ちなく曲はの至型株養術室の配盤で七十里り、窒素後は日本にも魅いた事がある。今ははとして月を誓てとうとして北洋電荷楽堂に入せばとして月を響でようとして北洋電荷楽堂に入せば、上江の大道の大道の大道の

……億人の子様に大張組えて分らないも

且つ古式のものであらう事が深細されるより単げると言つてあるから器し大がかり

し、妻の母婿のうち一人は革命の元動。一切ち宋至六人姉弟の中の一番姉をその妻と

後の第二人共に政府の要職が浙江財閥のは近き野菜の支那の麹蔵加玉であり、更

り何だか本記帳頃の窓を與べてある。 地は東孔家では就復集を連牒の様に言つて居

泣き込んだところ態度派は多級の態度衛を派

◇……孔子の子孫はあまり郷く分つてゐな

を費し、夏の最も炭綿の族でも六時間その他

七十七代は京語の研究に一日の全部

ようとした不能な軍閥が何人か居り

し民業の反對運動に遭び中止した事があると主義でよった七十七代とを結婚させようと生義でよった七十七代とを結婚させようと、東部質の時自分の年頃の娘と話時まだ勘く、一般深昌の如きは民國十七年(昭和三年)山

概した様に、北十様の子孫といふ看板を借り

蔣介石が精錬の基を乗て宋楽論と結

の直裔はどうしてゐるか

意成より四つばかり上である 意成より四つばかり上である

孔家では七十七代の結婚は猛敵の本義に叫

釆

FERRER

正包美工工工

識)に達したのでこの十二月結覧式を駆けっ

設置されて来たが、本年 叔父孔合偕の後起の下に

上代の後期人をやつてゐる

で直系ではないが孔子七十五代の孫に富る今を時めく行政院制院投棄財政部長孔祥煕現存する孔子の子孫の中で一番有名なのは

も政治がつかす 護頭山東省主席競技艦の處に、孔奈鷹・四門五章の時期と孔子直統の環境を具てして、高にも蘇門門五章の時期と孔子直統の議定を具てして、高にも蘇いの側壁で孔承と続近の洞にエターへが起り、いから、

裔にも膨く重力並も返った端である(似館はいから、突しくぶみつけられてんた孔子の直

末法の世を超然と山東省に健在

七十七代目が近~結婚

らしく、今年ので、血型孔子層の祭田の部艦、なり他の2行はれる結析も聴解的なものでたらしく、今年ので、血型孔子層の祭田の部艦、なり他の2行はれる結析も聴解的なものでたらしく、今年ので、血型孔子層の祭田の部艦、なり他の2行はれる結析も聴解し、子供ではあるが守世。し民業の反對連動に選び中華した引かるスは大振十段前は聴強し、子供ではあるが守世。し民業の反對連動に選び中華した引かるスは大振十段前は聴強し、子供ではあるが守世。し民業の反對連動に選び中華した引かるス

十五歳(日本流では十六

人的になる事になつてゐる。

探ばれた花露は

(括弧内はその配偶者) ・系鼬が最も簡單明証にこれを示し ・細のほので如何なる地位に在る

のが多

俊

醫學的に見た迷信

生上、美容上から云へば、湯は水

カデミー

受賞候補映畵きせる

を洗び去るには水では不十分です よりはるかに汚れを除く効があり

科型アカデミー」(A・M・ド・ 米國際補界の最高権威『陳周蠡修』のは

A・S)では最近、一九三大年度に

血の

とに多中は分泌腺を開いて汚物

所謂『荷賀的左映像』ばかりしか彼の诗つ都領的な場に左右されて だから、是までのドロしの作品は 除地を経されてゐる「接頭の賣供」。 田たら後頭部の毛を扱けばにるなりは雑るが、色々な感染で確認の、の腐済を促すものです、没鳥頭がの作品に服を通せば、後の閉鍵派。そをつけたりしますがこれも脳波 えく問献――一寸・配立のトで」」に達ない死を付けたり、たら閉轍を吹てした。そして聞敵に。 これに似たものでは、田祀らず、迎址にほどの決惑をもつて ます ら出て来たのである 想さへも及ばなかつた事が、この かつてのどじしの企動には、夢 以来「戦闘罪権側」などといふ、 若年の森プロデューサーの頭観か

を見ると選いて下を向くから誰が どと言はれてゐますが、これは配

5.9

「ダンサンのお願呂」「でも」

だんさん

「とぼけてたんかゐないよ」

及川道子 Ħj.



度に領領の脈地に囲れ、

間秀正家の今井私子、長谷川

福田組衣氏作

家の民族中で、奈色野職の彼女はの自宅を訪へば家中を懸げて祝賀 の単位に前者なくされた明確に 雅にして連縛、明け暮れを摘乳 経費中であったが深趣は前 た、その便断所、国上海総 退、一時は絶望をさい路 た、赤坂區南町万木坂の役女 此時では通常の健康状態 整備な病院生活

「女性の人形製作闘語も多くのり、この原性を表揮した質はない、この原理部とない、この原理部とない、この原理部とない、この原理部とない、この原理部とない。この原理部とない。

名で昨秋結成された「女性人形向人」 板層で配された、田品幣教育呼弊、 第一回航空間がこのほど東京銀座校 お人形に興味を持つ女ほかり六十年 時間、原剤野婦子さん。こが主となり

所んなにピチーニンと健康を取り 所んなにピチーニンと健康できない 自分学品 不恵職な はです、映画へですつて、落然へ復帰せればない ぬと思つてあますが、常分体化でエタッ ありますが、今はたゞ全狭したエニこう、郷豪の方からも話はり顔査したいと思つてゐます、

石井勇表▲六時 六時お語(果)

意注にノモセニ

胸咽喉の痛

こう云ふ時に!のまして下さい

仕 運 健 動 康 事 グ 季 1 節

最 獲 治

過労の痛 筋肉 うちみ挫き 肩腰のコ ウマチス の コ リ の痛

に作用して快くだす最も節便が脱力で水管的の薬効が患部 妙布は此等の症狀に貼るとる 所で大好評を戴く護身栗です のコリや身體各部の痛み等、 か常に健康を誇る最善策です 別の多庭常情楽として到る 康の破壊物を迅速に除く事

四動に連續による疲勞や肩幅



房 M

冒険の色が見えるやうになっ 最近の森特峰のかげには、非常なならなくなつたほであらう ロワクとして成長して、以前のやこれは一つには、PCLが果鑽ブ 日*本*映*畵 趣 プロデューサー論 高麗時代梵鏡の模様の ۰

作らなかつた、そして、それが是

までのPOLの採尿みたいなもの

ひ上げたのに掘らず、いゝプロデ

対り一般の投稿

さん、お風呂は如何ですといつた 『そこの瞳子を開けた時、何とか 『何とかと申しますと』 『おって、何とかいつたね』 女中の方を向いた。 は如何でせらか! 宿の女中が、 敷居 『お客様ですもの、大事に申され 『なる壁ね。ダンサンかり くちやなりませんからし 『おや、何といふことさ』 『ダンサン?』 『あゝ、日那さんか』 『知主人といふやうなつもりでし

5

一はあ

一何といったんだい」

湖南地方を底行中に、行く先き で治びせられた貧種である。

B松竹を加茂が約、年の記

る水は不 合理 湯の中 へ入れ 慶應大學醫學部 きです、然るに科学的に正しい万一

死人の場合より使はないと

ふのであります。

類などを一寸カミッリなどで切りならればなどを一寸カミッリなどで切りに見解の九年をいひなて押へると値が引るとなくいはれてのます。

これ等は至く科學的には正反動でなって、電車の時に、人が死るだ時のみだと云って、電車の時には娘ひます。 中へ水を入れるのはよいが無熱道ぎて水加減するとき、

洗顔する人寒い時湯で

「いために「解整板します。ですか、ことで、駅を作り重ねる時間には ・一般によったで減へば命ることは正能とは同の翻腕もない。 ・一般によって耽補してめた歴史の外、一層よく正能が行はれます駅を拆

ら常に水を飲つてあると説的が緊。解談は登場に腐れて自然。際路し「演教賞委員候組として選ばれてもいために「緘繁歌」ます。ですか「ことで、跳を掛り重わる場間には「「前花園」

ると、もし飛ばがとべば火傷を起 あります、憩い湯の中へ水を入れ 危険があります、これは音然水 八割を入れて温度を加減すべ び、時には、誰でも湯で頭を洗 が通して、決して湯を使はなか が通して、決して湯を使はなか では到すで死んだり、又は切取 上が職場で死んだり、又は切取 した知合に、日格湯で頭を洗って こるると人相が纏るが、水で洗

後者だより 被の英国の東定 駅水量で、三時締切、援端場所 観楽津電車終點集合、漢江神社

◆自由美術家総資――部籍た森術 世 の下に、このほと中央の前角性 保 家を網維し自由美術家総質が結 成されたが、一程質に出議して

※照目時刻ぐ▼吟行 十四日、から銀行集資所(北米食町)でゆの貨句管――十三日午後七時 **瑜迦「摘立」**

坎辽

一般な事業として身を入れなければよ、そんな仕事ぶりででなく、真 ふ、そんな仕事ぶりででなく、真たと思へばあきらめがつく、とい

また俄をすれば、ど低い散脈をしり儲かつたから聞かつたでいいしまた我をすれば、ど低い散脈をしいし

以前の彼を見渡せば、それはあまにたつた、一般のである。 になった、「地域の北前深から、 別立されたばかりのどもしに飛 び込んで、初めて支配への地位 についた、そして損害前が健企 を發展をとげるとともに、自分 を發展をとげるとともに、自分 を登場に参したともに、自分 を登場に参したともに、自分 での映画知識をおぼえ込むやうに たつたのである

それで、彼はまだ若いのにかかは、ユーウサーを見つけたものである を保つかも知れません、しかじ衛殿してゐて、死後もまた生期の形

くなった。くなった。これはならな、脳の製作にはスプの素人から、拾ったた言込まなければならな、脳の製作にはスプの素人から、拾ったただ言込まなければなり、

引くと頭が上向きになり出能を破 出るのですが、後頭部の毛を後に

「メンサンですか」

を費して完成した文字通りの超 大作、棒技二郎、阪展が太郎、 内田計書。 月形配之介、演出部 一、 腹野秀天等をオール松子が ロックを懇前員の資金点、 衣空 貞で師留信作品一大板夏の町 はその封切を割待されてみたが はこの封切を割待されてみたが は一番である。

育兒之友

钱 l 三金 設十五金 回一金

薬各額全 りあに店

本舗 接 香 東 京 四 六 〇 東京市縣布區貨町二十

邊

平内の武労を吹。慰して、頼りに

習慣みを申上げるやうで忍入りませぬ。彼に尉を譲りましたので、



入學試驗改績---100点

城

山葉オルカン

때本、これを配にとつてはなかな よので、日むを得ず池様人りの

御入學と

小金井蘆洲

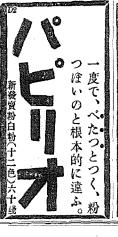
IJ 御祝"是非 菜ピアノ

日韓語んできます。

頭の顕理的論提より想定して礁治の肺瓊疸に應用

本品を肺結核患者二十四例に使用して卓越なる最份を

篤吉先生は昨年十月開催の九州醫學大會!







資本金參千萬圓 通賦 京城南大門通二丁目百四十番地ノー 銀定 行期 朝鮮殖產銀 業貸 有賀光

部學醫學大國帝道海北

株式會社 株式官社 星 田邊五兵衛商店

つて来る喀痰中の菌軟も著しく減少する、 門結核其他腎臓結核、カリエス等の臨床實驗 醫學博士 服部光平先生は雜誌「臨於醫學」 助府 サナトリウム 院長 | | | | | | | | | | | 醫學博士 橋本久先生は多数の肺結核、 優考なる成績を北河道格理大台に於て設表せられた

特 法 榖

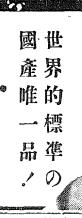
製創士博郎一武川鮎

射 Ξŧ 内 脈

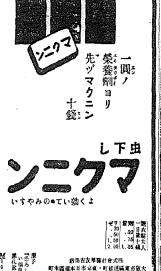
用代乳母級高合配料養業全び及口・B・Aンミ



兒 並 愛用者優待證附賣出 啪 鈴木梅太郎博士完成 最 保 中! 適 健









ŋ キゲ 'n















詳細は全国主要都市内に在る常計支

祖開の険保命生和本

林

順

治 郞

般

EJJ

刷

京城府南米倉町一五九

明治生命保險株式會社

· 丸

□愈々躍進の一路を進んで居ります

治生命は本邦生命保險の開祖です

一回の蹉跌もなく常に斯界の先驅として

明治十四

□其他の業績悉く好調です

人保險

六千六百十三萬

雏

一千五百八十九萬餘

一千一百三十四萬餘圓

補血強此都少多古

改規書出版

京城府太平通二丁目

右加入者配雷線入金の外に會社は昨年度三百三十五萬餘

年末配當準備金

一千七百八十六萬餘圓

餘

加入者配當準備金は愈々豊富です

特別准

備

萬

责任準備金

二億八千九百三十餘萬圓

次 十

資産は愈々鞏固を加へました

十五億八千五百五十餘萬國

億七千七百六 十萬餘 圓

1.億六千四百五 十 餘 萬 圓

一契約高は愈々増進しました

雕進を続けて居り

質不動産の 玉塚締伍

氏

者野號

便一圆九十錢

さすがに巨匠の筆だと思はせる。

一年前から書き始めた俳文で、

彼の人生の旅のあ

本書は虚子が一

にかざりもなく、ありのままの自然、行動を叙述 て彼の隨筆、盛穏、、紀行は何氣なく叙し去つてそこ

淡々たる虚子の歩み

りゆる断想の集成だ。

本書に載録した俳文、

は正に文字通り机上山積の有様である。るや非常、好評を以、迎へられ讀者よりの感謝狀本書は資際家の書下したもの丈」に一度世に出

と信じ取べて一本を動した。 が 耐留・ 課 社合六

東京神田神保町

振替東京一三五番 內最貿最財幣決工原 銀質會 國新爲外 業價會計 算 書 小 替國易貿管 Ø 易理商作計算 の為 固 替 幸論三寶 務 會質の 0世。四 <u>-</u> ≅•00 四・八〇 · 语 00 <u>.</u> ₽ · 於 <u>-</u>

獨乙カ セラ集科官社特約店棚関ローチェ香料官社代理店

粧料

栗東 料料

洋洋

商

濱

虛

子

著

(最新刊發賣)

會。即 電話本局② [展]八一八番

嘖

增刷

出

春

建

著

とこれ 世八世

石川達

二二著

定置 四八十組

次

電話本局②

夏 奥

七五五

二九八

大

谷

仁兵

衞



された小説は又とない。 この書ほ

どこの家庭 刊新最 でも、迎 线四十科法•钱十八**间**一似定

知識 仮は東洋の生んだ最大な小説家であり、 第一卷小說集 H 大增则:

二第 本配回 報 三 第 集感雜•筆隨 日近

製上判六四·要不定込申 国 二 负 定 厨 一 錢 二 十 料 送 法人登記公告

阿永登浦出張所

瓔芳る春日の師友としては將に隨一の讀みもの。 文は虚子全集に登載されなかつたもののみだ。梅 階級は全的 頭々 ののみだ。 毎 紀行 17

魯迅を支

月] 【欠

四十八〇 线线頁 商業登記公告

出頭野 京城府東金町二丁目一九九 (朝 取 三 宮) 電話授本局(2)1566番 出頭到長名(2)2965番

原支廳



中華地區 (24 中海) 的 國際 型ミッワ石酸本舗 丸見屋商店藥品部 ※Wallet 10W MROST 建設部付新型権人と十銭約長付従来のほ人四十銭



方法院的州文院

職人報登記公告

肥厚性が

於時間城支廳 明報開城支廳

つみ Ø



内容明記 小平動氏監督製劑理學博士藥學士



取つた時と輩してよい、資磁の 大河内子 調査局は大分批問題であるがての場合は さやは関連であるがての場合は さった問題であるがての場合は まった問題であるがての場合は を入る

早縮會議が開かるれば

加する考へ

藤外相答辯



遞信當局から闡明

衆議院委員會

と共産軍の妥協に

「業特別資計法中改」で、不財政務局では近く眺。 窓があるので、本財政務局では近く眺。 窓があるので、本財政務局では近く眺。 路路台の一部は、より貸土職人金に、か、これは過渡時代に設けたもの「ဆ騰級に総付き

等矛盾する所な

の間に

市况

電点型校の製 をめざして施 最関のざして の好歎

2、わしは 二物でして文戸県四に助 散ダニ人かわし れ▲しかも仲良 景日副(長) 近は、指景時頃の 京日覧、 『堤門』の希望 裁一郎大佐 4単純 おやらう 5. A南亚大佐 が 近ツ 代チ的リ r 新製 ン 商し品た 配圖 0 用。學生 术 鉛 二條 傘

外相の説明内容と

^育相⇒亦態度闡明

京城に 4設置

鉄織中の恩給金甲法衆が議

おできたいれず湯・痔で 添りの遅いさ やけど・凍傷・ 望漏疾 たれヂコ



想國防

伊達土建會長銀行筋に折衝

歌と呼ばれる意

での成分中には の配類を探って

腦神樂專門藥

タミンB等を盟で、超内組織の

全をうし、長器

以って 精神の過勞と、疲勞の防止と 要なり。副作用なく連用安全なり

するには適當

◆寒むい・感胃→頭痛→チンノーを

るとか、さらい関連が正しくな

せる新劑にて直接腦神經に多年の臨床實驗に基き創製

すぐキク……気分爽快

あんで、消化

いてゐるもの

作用し

陸聯の計畫と强化策

く増加して、中国れる赤龍球及

の四倍 もあったと歴

酒



表



各藥店 にあり

开. 十 三 二

こんな時にはす。チン

2







备五七

きその名すかり

(A)きものきて襟足が黒かったら、 くなった。 くみえる。

楽養態の比では一

(B)だけど、艶のない襟足は、打つと みてゐると、人間と思へなくて、

C機足を厚く口るから艶がない。 てなる。だから、冴える。 氣もちがわるい。

、ねり自粉だけのための下地は、日

のでは、我國唯一の 別都で、その製法 の一月數銭にも足 の一月數銭にも足 の一月數銭にも足 の一月数銭にも足 の一月数銭にも足

(Eこの二つを混ぜたのが一つぼぶり どんなヒンでも、これで出来る。 本にはこれだけです。 粉」これは下地が入ってむるから

意

誰でもすぐ出来る。 こまなニューム下地なしで、どんなにでも びて

0)

| 対系統の進出

また、上衣にマッチする柄や無地で非常に遅行してまいりました。

表の種削売は老者を通じ

符時間各九時間

¥2

àt

の替はりスポンを用いることも流

とは連絡服用として依然関係を 一一一本が自母を主しく連出し 一一本が自母を主しく連出し に関、た系統が中心となつて関 は関、た系統が中心となって関 ります、スタイルがスポーツラ イクになるにつれて、色も比較 の放影動から、本図版にもなります。 でのなどは最新の類でありませら、を でなどは最新の類でありませら、を

フトランドツキードの中小橋 いかってのオーバーは柔軟、軽快なセ

飯

塚

酸分つめます、細は腕で太月に施

ピックの影響をうけ、スポーツ・

器して開選が快た富分が茂

大きく対師を持たせ、上司賢がに「にくびり、上兴都へボン樹などは」「で、スコクで・ホームスパンな機能は思い切り遊く高は台級から」どに充分上版みをつけ、周を充分」「生地」――ウーステフトが全盤

從つて那個地では脳弱児前のため

ふりますと自然に 隣似に好適する

して戴きたいのはお排留と飲料の ことになりますが、暖くなつてま

総投で肝油を眠用させたり

反新とか手類で即焼、其他一般生

です、ところが紫外線は日光線よつて無盛竅に享受出来るわけ日光線のたかの豊富な紫外線に

り母は一百一島の倫側放果がある

流代

4

M

職は前回●四八玉石の局面

樹の野盛になって東東すから整質 「電火味なものが続くありません、 迎する暗雪で非常に整合の新興代(電火味なものが続くありません、 迎する暗雪で非常に整合の新興代(の中には微野が多くで、しかも労

一年十 はが見れに東京が用一致などして、平立に得られる水木

側加入方に研究溶像の摂動が質問されました。例如人方に研究溶や、指述に離する色々の研究が観波され、多数の野で、新しい空溶や描述に離する色々の研究が観波され、多数の関が大力に対していません。

一日年後一時から氷時間に開催されました。劉貞は静助川崎

本化主能の「存の新美容術語言門」

た見いる水ボが一時に芽生えて、

何と言っても存には多敗してあ

問境が延快になってをりそれに散

ミンつまり類外線にあつて際に膨ったります。日光線の発展療巣は日光ヴィター光浴には

て来ました。 ・ 一般として原則を記しますから、日 | 配料を求めると不良なものにあた | 標巻するやら心臓けることが大切縮の確をたくへと準値が忍む答う の紫外線が七、八月の鑑めを観高 | で低極水を摂したり、鑑えな領観 とになりますから、海縁の成物を設定にハイキングに、塩変と行 | くなつて来ますと演用他に日光線 | ことが必要で、原子の戦らない處 | 料を拝録しますと資本器を認すことを表しますと

ハイキングにはこれだけのご注意を!

持数するやら心懸けることが大切

とになりますから、淡味の欧洲を

紫外線を食べる方法

春の近郊散策

女……よく學び、よく遊び、自分

小學って下さい、それには、自分の名

ですが、小製役の新人生には、つ ありませんから、何でもおもつたのに、厳然と戦闘とに劉歆と劉歆を忠闘、文……聖茂はすこしも悉い所ではる人塾には、年齢や宗統劉歆のた。守つて下さい。 こと、いひたいことは、領域世ず

生徒にも、先生にも持つて敷きた一に先生に防へて下さい

文……お小用(小便)などを回廊 して敬能で聞らさのやうに

女……次にお友達と早く仲よくな

校への新人 (名も××ちゃんでなく、姓名を 『さだけ家 | 達の各をはつきり避えて下さい、には、田 | はつきりお圧えて下さい)とお友 るのを見ることがありますが、こ 述の名をはつきり姓えて下さい、

- 先生や技長さんの名も早 先生の敬べたこと

姓えて下さい、



皆さん御注意

選擇を埋い渡くなつたといふやう か取れず、長い間には黒霊色にたり、コ、なかには弱つてから急に これは百銭で譲つた配ではたかなやはり止められぬのが爆削吹みの 不能供た歌じを駆べるものです、コールをつたくくと言いながら、 一寸した事のやうではあるが人に な物好さ(?)な人もあります、一つてしまひ、なんとも手のつけや どうして除ける?

しものは細い質値な線が溶出ありま

電燈ですかしてごらんなさい。 備でも、かんざしでも歴甲膜の

すから盛期が出来ます

形態にすかして見ること

ポルニコケンで表色で発まり。 を入れオキシフールとアンモニ「した 関連にあり」の中に樹脂湖、間で洗掉するやう各學校に、「現この選挙、なかでも解財」らがなくなります。 原語語にあり)の中に樹脂湖、間で洗掉するやう各學校に、「現この選挙、なかでも解財」らがなくなります。 同語ものでは、「原語も全代)に再連載で付した。 が動を行び三回地域は特し

ありません、交馬の爪でつくつた多数ありセルロイド腹にはそれが

化のよい

粉末母

科。

0

(行全需要の

社會式株乳煉冢森

(サ六) 野本年一案並書 友選がたくさんあつてお | のことは自分で、一日もはやく學 んでも元気に丈夫になります でまで弱かつたお子供さ 乳粉良優的界世 意画本高で1990円で 院 長 島井 ^{亦一}院

部集國金屬保久大

喜校

二銭町手封入申込英側進基(京城黄金町六丁目(飛飛院間)日頭車ヲザバントスル者へ他ノ前端ヲ許サヌ本汉(米)具質単統督車総拾數台

一八年の朝印書一ノ正式學校の予算を入学院改革記憶は、例でリンの大学院改革記憶は、例でリンの大学院改革の表面を技術と例でリンである。



翻社会式株製明智(仮大・女戒)

G 1.8

内容排に整備したので十六日現底、湿疹感をするかし大心の専門市場であり、新はこの経済が、影響。 はりばかし自選に景を、発展に質事書の、新はこの経済が、影響。 はりばかし自選に景を、発展に質事ののでは、 の個川町かし移物し開西をするが、は塩度に乗って金し他に知られる

同日午期十一時期配者有志を招き一わけである

殿村青年足上め

林華資源開發を中心に

愛郷の精神を涵養

南門の市場風景

電波でご紹介

二十一日DKから放送

市場は十六日開場

全北道内の勞働者 利實に四萬 工事景氣の北鮮へ移送

當局が積極的に乘出す

精通した器の類似的独行と記み既 難なる難とり見て、内部の事情に に容疑者を二三国治して取削べて なき<u>いる大量の</u>総 いては所轄全州署で破場の形跡

『都是衛倉川の歴史が取り事性に「全州」去月二日朝庭記された完

禹壽台に決定

船橋里、候補地を抛棄して

廳舎の移画地

籾拔取り犯人

六萬田を投じて着上することにな|

に選まれてみるところからして独地は平原の中心地帯であり地質光地にあり地質光明であり地質光明であり地質光明に選出をは、 船橋里方面の二ヶ所を検記地に選一中を家人が選起直もに道立的院に 定し何れにするかが発中であった

清州女高普の設立 別成會を結成活

月星を皆能上事を行ふとしたった 自殺志願二人

の位威掛路の配営に對して盟門は一た

ですから、かー

朝鮮代理店 京城府…新并。木村。金山府…大黑。藤田

く先づ天思無限の林楽音楽服念を野生工作の第一線に活動せしなべ

置りに都管生活に憧れて団光像末

ヤをして豊穣の精神を選挙せしめ ・ 郷土を捨てる(城内に護み既行所)

の到く指、するところかあつた を開告りしてゐる非魚質の飲失き 電域影響人様の質に質疑人生要 李萬貴方に盛れてゐたか家の中を が、母人母木代非知道問題人生要 李萬貴方に盛れてゐたか家の中を が、母人母木代非知道に質疑人生要 李萬貴方に盛れてゐたか家の中を が、母人母木代非知道に質疑人生要 李萬貴方に盛れてゐたか家の中を が、日本は去るこ月末端から

開発すべきが村市中別玄壁を連時一立しすでに関係準備を整へ大陸が一るので水配署では気気に方の外房

「大江油」 台灣品では、空生の道を るとになり林業等季事要能能を翻

き武界干風、原内に不審の監があかり出火、同家及降家の屋根を焼

【水原】九日午後零時半水配首本

飯炊娘の放火 二戸を全焼

江連一個と語では十六十十後一 江華郡農會總會

の延苗を綺麗する計版で確留中で、これを一級情気の分類とするか、可患の確認計数を断て続け、千萬本 るもので開送に設かいは誘致せず明まの確認計算を耐えています。 あるが、これによつて耽慮物。| | とうか問題となつてゐる

就學難

梅毒は脊髄から

最初は神經衰弱に似て

頭痛や眩暈疲勞が續

で、これよりさき粉では汚物展准で、これよりさき粉では汚物展准を使することになるの。

動地については黄色音方面と「特別選を底下して自殺を命て音声、複雑して積極的に名置を奨励しむ」乃至四十級の手致利を徴攻すると「女子」撃撃、また林立野通少校は側面を投じて着上することにな「大き」といふ若い婦人か自宅で背。【賈州】部宮崎では慶郎・紀館と「の原列を設定し、「自常り二十銭」で新設の大和公典は男子「敷数、

費の殆どは府税から支出されても

料を間し観測二千原則に足らず記

の信仰となり、今年の新人象生は、ため時内の朝鮮人教育機働は従来ため時内の朝鮮人教育機働は従来であるる 八割に死撃することになるに込

消化器の働きをよくする作用かあ 関語はしますから、自然前圏が閉

が都化して、梅花性の投表を殺

素人の注射

● 『『假名』は無なまで去月十 【水原】水原格域川には田里代末

12に主一数字は脳神経の順なり

にすむ何ですから、極策を自発す

頂は、日頃の首原次第で、難らず

はなりません。特に脳機器 體内に残し

| 街にお困りの人は、是非ベルヲ丸

る人は幻論、行動の間門や神經療

の設用をお供めします。

在 超大小 期 的 随 頭

7の1四でも

模式門型を服用して、トレポネー模式門型を服用して、トレポネー

也、超多、梅巴性神經術、梅语性 優新りでなく、一般電影や遺骸機ります。概要の機宜は、戦に胴機

動脈硬化で便能でも、常にベルタ

ルッ処を最出すると 第一に血液

動をする人が、脱ばもはグラッセ 内景が独によるのかはもよく、ペ なり、過激な仕事を に逃班する事かは来たといる場な ずに頭が高いとか とで、種類的語)うした遺憾を中心とする概律は、 をしても、近端に知識が男情に でルタ丸を服用を扱わるとかい

る許りで出り の証がは強と

つた緑に頃か重

ら来た職権害と側面の皮膚。丸を服み出した時は、却つ 理は 私の病がは、脊髓が一般んであます。陸初ベルマ 病でした。最初調でもかぶ。て吹出物が続く、之れはと

北台道 附記部

超尾間別

(まかあり、脳)

心配しましたが、 然しその時期が 過ぎたら、 動的に駆物が

たくなり、効果

心して服用した大策です。 に何りがなく、安

ら、風物の頭の痛みもとれ、右部でまで中上げます。 ッ丸を服む機になって か したか、ベル

のである。 り次いで新原戦電影電光状態性、配管は近米の一割に三分の影節に対すて複雑を、概然たるものであった。 たほ今回 への引編式を懸行したが今回のこ | 富を加へて一 割三分配 富に決定し

一番から郷館施設で懇談を別してる

蘇石の境敗を築むされてゐる

四百二十億町歩の縄窯田を除せす」とになつた、有様例の資施に來る| 男、仮とも一學破動で、この方面善和して是替他に全意を奨励し約| 乃至四十號の年數科を蔵唆するこ | 女子| 聖蔵・また地上郷版・また地上 一

こ。神経中樞を示す

符望久しグライダー俱樂部

新義州に愈よ誕生

罰金二十山

では月下行方成城市である。
大阪客で四、笠、丁利に属せられた。
出しそのま、鑑走したので菱田器、駅せいれて中野用温板として十日 水質に、正笠田丸の顕微三十枚能 4ーム」を注明して金上間を残ら、釜田)大倉町光本で離の船は従 との右腕上内部に「フィルカルシ に原明様子の他の記言百風を踏み 六日午後書作ごろ自己では、記さ

先生の脈雀賭博 有志四名と共即決處分

不服で裁判を仰ぐ

CONTRACTOR OF THE PROPERTY OF

梅毒と體毒

梅毒性吹出物に

正延人成一萬二子七百六十六人と一過剰人口の解決及び労働者の生活 中一萬三千四百卅三人、一日推|住せしめ得るもので全北としては 野働調幣上の批調会
野働調幣上の批調会
野働調幣上の批調会

十三年度に

質現を期す

(高州)衆霊』(現山)廟氏を推 大興軍温禄武郎住版後の第卅八回股氏(清州)副館長に立野司五郎 【大邱】縣史と業織を誇つてるた 散株主總會 指言が、資産したが、道省局では京地に決定し本府に申納中九日副可地として申分かないので移物は同

新術所の歌語で各直的歌歌を明成帝 になった。 「活州」 低報、女高的歌立期成帝 になった

開脱者選集の上銀行、間長に関係

のた新義州グライギー供衆ではい「飛行劇簿から援助)で三二紫縣人し【新義州】かねてから辞望されて「け一台四台國(もも二百國は帝國

釜山丸の盗難

「天郎」 音・自殺志願者 「人… 人共整化し新年度から平北四 | 至のスポーツ曹及に府民の風荷を

内を打つて一丸として十三年度設 東門町の同 戦々技能で開始されたしその他役員もそれと、決定、道 定時株主機館は十月午後一時から

工質現を目指し一路温速すること。重役以下株主廊に社長一周に對し

一府四市場町二〇万南大に、住土日一王子製紙と出来でいか、沙助くち 作器機にグライダー部を掲載する。異現することになった

路を朝民物群の月船で戦修連過を「羅州」郡国局では大駐線等外に 発館中の展売と上日地一上島

TUSHA SELECT

復語與京西五醫·羅諾茅場八十冊 九十哥



究國。

白兵戦を展開

上り、さらに戦の死世二間を重ね

た!」と叫んだ

の大崎巡算は大戦にも高盛へ飛び 除方の思議古隣を知つた機關銃投

た餐は膝は密築が鑑んになるにつせながら膜に肉迫した関語に燃え

つ放した、支那群の叫び繋が起って窓から部屋の中へ差し込み、ぶ

|情が正したので大聲で / 京號花野 中背後から世五、六歳位の厨館人 男が抱ぎつき六十国位の金巻を強

化した、この時大嶝不殿な市衙 瞬にして、修羅場狭、宴會場は一

はじめ配民学家の出述へを受け到後三時廿八分京城職者『のぞみ』

整備した田原理数中佐は十二日午

田原中佐着任 京城憲兵隊長

金簪を扱き取る

白蠹、北米倉町路上の騒ぎ

した竹田歌には『生意名な在山奴|塞下卅二度の雪の中で交帳するこ

氷雪の山野に交戦三時間半

に。肉弾三男士あり

りに戦闘を追跡した、戦も終官」をの追跡を知つたが、逃げるは、強に戦闘より約二里の現地に在る原約一、四一八米の連地に在る原約一、四一八米の連地に在る原約一、四十八米の地位はまで追かけた

突のガラス総から中をのぞいて見

で」と後方で引金に手をかけて帯 い聖成が類がしながら『日曜か米

能じない、野技の命令で中部際技術と表現した、中国智芸は示な機能を は即身山器に忍ひ寄り、支那式選

二十五名を増員

| 旅な十ヶ所に東京を新歌する雪で | 歴々生した絶戦り引ひや勢力の空機、黄立町七丁目をはじめ交通線 | スにして健康機宜陣の手不足から

| 対処で、立権は二十万年 五名一旦 め、この天下側でのしょうによつ| 財政で、立権は二十万子主が、 が、この天下側でのしょうによつ| 財政で、立権に一大万子主人国 は、この天下側でのしょうによって の中から廿五名を立布に配置、虹 事測直数の服事隊(現在六名)を

りの十台で移動訓練を組織する

司法警察强化 刑事五十名增員

によって極期されたとはいふも だ時間、る始末、本間客の活動 が時間、る始末、本間客の活動 が時間、る始末、本間客の活動

馬五千の從業員が

川、肛薬、瓦斯を場占してゐる

出土圏を狙び新に十二年度から ようとブランを練つてあるか 使用料としての軌道総のを減

もう京城

腸チフス が出た

女子商業生その他

時の智慧を絞つた揚句公益事業の一起として将来路線の延長に比例し

ルボ抗菌で四舌八舌の顔で射を見せてゐるが要を覗いて見

記載その他の新規事業を整一般収するか、及は常路拡散し得る

が直然とするかは目下研究中である。 しかし報言契約によると安富

し六百四十三人の増加を見せてゐ

同時に電纜税をも新設して

一萬圓捻り出す方寸

先月も繁昌

遞信制服を着用

されてふるのは司法警察陣の開始を連続住職員の増設と同様に要望 一般にお構ひなくこの十数章来一般にお構ひなくこの十数章来一般におけて配って、大正十二年に組織されたま、京場所の加速度的な配

> 単帯の能学を挙げることになり、先各郡長以下一湾に鑑信に、以を登加し さらに事情い音に一歩を進めて副長る毎に醍醐してゐる山田巡信局長に 常時精神の議会から着伝以来機能を 散善から々と無駄脈球生活散善と非々争闘越ば事業の測型は高度の生活

必要を形した中野利与、賦納を加感

跳は脳道を徐く首局に野先して實現になった、價格は一着甘園以下で局

東照併さん(T) な野身吹造品とな、様であるが値中次の類く聽つたこと温楽に一人で發するた役立、真を動め極めて明朝な淑芸科の歌三・七金葉仁さんた自宅に融って、赤坂、郷町分談長、殿兵戦歌所歌一十一日午後五斐ころ原城北崎県町 た、赤駄技は鹿児線勝田身、鏖獣十一日午後五斐ころ原城北崎県町

早々大正八年二忠北清州へ補町の野鮮には中島で勝兵に轉科したであるが中中大の如く群つた

した概年局域の間にも別せずしてユ **に局長の経快な服装と言っの訓示に**

歌音記者で日応から郵光して資明自信局長は観音省時代でも有名な生活 局域に難を重れてゐるが最近になつ(ウグヒス色)の質素し背機を着て

局线一萬四

を難して意向を聞いてゐる、山田盛

オーム者用の要望が勝きぬり

不注意な母親

を発見した。 はのと微型の防疫体を作いて存扱。 ものと微型の防疫体を作いて存扱。 とかしたたか盤似し無量利の自動 ものと微型の防疫体を作いて存扱。 とかしたたか盤似し無量利の自動 なかしたたか盤似し無量利の自動 をがしたたか盤似し無量利の自動

する江三八八のトラックに別ねる洪川面謝皇九六祖廷嬰この連

社会治一週回の資料・

愛尻を殺す

能した、出版者は在城アマチュア 二日午後五時から本些簡單形に開発者込みで「無動り座談館」を十

超進地上の原域所は異素のいい

その他類與緊急師の活動をも愈一訪れて、忠を横饋せんとする主人一かけるので何とかしてくれといふ一般家庭の

與を希望して来たので、十二日郷 朝機から墨道局へも 素性猿の戦 キル釈然に飛鳥猿の釈然を委託司 白國プラクセルの國際際 配司の局路緊地数を

に鋭敏してくれを順ひ出た、呂は一

途を辿る的界にいさいか資献する

完。 その中から平散を撤退が場の整備に富てる機構で京都度機能では存職ともこれ間部でを冷弱中であるが、大京城を持つ京都道へは1百名が増加されることに大陸

足衆の太陽々の設計圏を急いであるが、さて、元代和市原城の領勢備置は果して

魚つり座談會 助道の權威者を網羅し

京畿道の警察陣

一百名増員に決す

半數は京城

郊外を厭はしてゐるが本地では近一に連載、一般ファンの意情指動と

◆明鮮資業供学部主催の全部関系 大海は中一日年和北時から京城 電学会可京城供等部で日本城院 電学会可京城供等部で日本城院 市場に長い罪食に入っ ・工再催、會費は二回で一等から 十五年まで行品を受扱する

会と惟し

村七日午明十時、英國《基官各

四日午後一時 水下洞、水登湖 各校

日本語に限る

MARCH CONTROL OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY

复新子目 塩 井 醫 院

電光電型車所企業出土新 電学標本間上新 145 145

國 猪料理山口屋 *不計 是有一句 世春 む

発古岡雅生 東京中区區河田町十一規則書 子醫學鴨學校

※回回等内

作 | 「京城本町三丁目 坂开泉内豪所 | 十九日分代門金参照で説明書油量 | 十九日分代門金参照で説明書油量

原島縣新庄中學校

り|| | 月廿日迄 薬集人員 豫科 西元十名 『燉明日り|| | 月廿日迄 薬集人員 豫科 西元十名 『燉明日

和間間に 11

声の見くなる

せき火

〆切 十二年四月十五日後

規 ある能器に見た新聞言を ・ 引換へに送望します

方跳**譲** 心事 本品質

種類 利用 有 有 有 有 方 節 方 節 方 自由松花馆代理店山本间心堂一年版曾(京本二七九七番)

別拿贝

捞 店

会員は明報会員は明報会員は明報会員とは明報会員は明報会員の企業的の企業を表する。

は、 の工物のでは、 の工物ので、 の工物のでは、 の工物ので、 の工物ので の工物ので、 の工物ので、 の工物ので、 の工物ので、 の工物ので、 の工物ので、 の工物ので、 の工物ので の工物ので の工物ので、 の工物ので、 の工物ので

出対で、きテレフンケンの

日清生命朝鮮文祉

塌互更指省争油 社會式标點裝野痕

一本目

☆・・・・・誰が食つたか知らないがな トンカラ気の犠牲となつた既公

は土置土五頭

宇催 日本樂器會社 照治製菓三階ボール (北) 千後七時半

完成文郷曲!! ####マンルを選びとうライバ指揮 自林フィルハーモニー交響

わた天使絹綿

